馬耳東風

新年を迎えると特段に意図する訳ではないが，子供時代から大きく変動する時代の流れに想いを馳せることが多い．敗戦直後の田舎の生活は，食糧は充たされていたとは言え，身辺にあったのは森，水辺，田畑，道それに家庭の中で営まれる生活のみで，何の変哲もなく刺激の無い日常であった．それだけに四季の移ろいの中で営まれる数々の行事は子供達にとっては楽しいものであった．学習塾もなく受験勉強に追われることもなく，時の流れに身を任せた様な育成期を過ごして来たが，これらの行事と生活，遊びを通じて自然と人間との関わり方，生きるための知恵を習得したように思われる．物が溢れる今から思えば何も無かったが，不幸と思ったことはなく，古き良き時代だったと言えるかも知れない．その反動か，現役時代にはかなり精力的に勉強したと思っている．今は義務を果たした開放感か，子供の頃の遊び癖が残るのか，憂き世に蓋をし，趣味の世界に遊び余生を楽しんでいる．

ここに居を構えて以来40年，毎朝，庭と門前の道路を掃除する時間，楽しそうに喋りながら登校する子供達を見守ってきた．最近，無邪気なこの子供達が大人になる頃，日本はどうなっているのだろうかと後ろ姿をしみじみと追ってしまう．国連は子供の権利条約で子供の教育を受ける権利を損なわないよう定めている．古い話になるが，国連の子供権利委員会が1998年に行った評価で日本の子供が置かれている過酷な条件を「問題あり」とした．それから20年が経とうとしているが，状況は当時と比べて改善されているだろうか．次々と起こる子供を巡る様々な出来事を見ていると状況は更に悪化しており，彼らの将来に対して大きな危機感を抱かざるを得ない．国の将来を担う子供達のための教育が重要であることに議論の余地は無いが，時間的にも心理的にも余裕の無い詰込み教育が，果たして真の教育のあるべき姿であるのか疑問である．夢中で遊んでいる子供達は想像力と好奇心の塊のようである．遊びたいのを我慢して机に向かっても，頭に残るのは単なる知識であって，生きた知恵とはならない．学びたいという意欲，集中力，それに情緒，感性は遊びを通じて育まれるものと思う．子供の頃見た夢は楽しく驚くほど大きな夢だった．

子供を巡る悲惨な事件・事故が起こる度に関係者は「原因を究明して再発の防止に努めたい」とコメントを繰り返す．その結果として執られる対策は，大人目線で一層の厳しい規則を定め，その中に子供たちの生活を押し込めることになる．管理されて育つと，権利意識ばかりが強くなり，義務感，責任感が希薄になり，失敗など自分に不都合なことは他人に責任を転嫁する傾向が強くなると感じている．子供の置かれた世界は大人社会の縮図である．現在の大人の社会で起こっている，競争を勝ち抜くための能力主義とか成果主義という資本主義的合理性は，教育的合理性とは相いれないものであろう．際限なく「成長」を求める今の社会，それは取りつかれたように破滅へ向かって急ぐ社会である．大人には子供達にもっと思い切り遊べ，伸び伸びと学べる環境を整える責任がある．前ウルグアイ大統領のホセ・ムヒカ氏は記者の質問に「私が思う貧しい人とは，限りない欲望を持ち，いくらあっても満足しない人のことだ」と答えたという．

（青）